

日本初の「カレッジリンク型シニア住宅」 学習プログラム プレコースを実施

日時: 6月13日(水)午前10時40分～ 場所: 千里山キャンパス第1学舎3号館AV-B教室

関西大学文学部では、財団法人社会開発研究センター、株式会社アンクラージュと共催で、6月13日(水)から関西大学千里山キャンパスにおいて、日本初の「カレッジリンク型シニア住宅」開設にさきがけてプレコースを実施します。

このプレコースは、シニア住宅「クラブ・アンクラージュ御影」の入居希望者を対象に実施するもので、本学教授陣による春学期6テーマ、秋学期6テーマの計12テーマで開講します。

参加者は「クラブ・アンクラージュ御影」への入居希望者により構成される「クラブ・アンクラージュ」に入会申込をされた方で、プレコースへの参加を事前に申し込まれた方に限ります(受講料は無料)。

なお、プレコースを開講するにあたり、6月6日(水)に関西大学千里山キャンパスにおいて、プレコース事前説明会を開催いたします。

つきましては、プレコースおよびプレコース事前説明会について取材していただくことができますので、ご多忙中のところ誠に恐縮ではございますが、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

関西大学文学部、財団法人社会開発研究センターおよび株式会社アンクラージュの三者は、昨年6月に、アンクラージュが神戸市灘区に建設中のシニア住宅(高齢者向け共同住宅)「クラブ・アンクラージュ御影」の入居者を対象に、関西大学で科目等履修生、聴講生、社会人学生として学ぶ「オンキャンパス・プログラム」、同住宅で開講される「オンコミュニティ・プログラム」を実施することで合意し、覚書を取り交わしました。

具体的なプログラムの提供は、「クラブ・アンクラージュ御影」への入居が開始される2008年4月からスタートする予定ですが、これに先立ち、昨年9月には本学でシンポジウム、本年1月には同じく本学でキャンパス体験セミナー、5月にホテル阪急インターナショナルにてフォーラムを実施しました。

[この件に関するお問合せ先]

関西大学 総合企画室広報課 / 鶴丸、北谷

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL:06-6368-0075 FAX:06-6368-1266

<http://www.kansai-u.ac.jp>

■プレコース(第1回)

日 時：2007年6月13日(水) 10:40～12:10

場 所：関西大学千里山キャンパス 第1学舎3号館 5階AV-B教室

吹田市山手町3-3-35 Tel:06-6368-1121(大代表)

(阪急「関大前」駅下車、徒歩約10分)

対 象：「クラブ・アンクラージュ」に入会申込をされた方でプレコース受講を希望される方

テ ー マ：「フランス映画史への誘い」

講 師：堀 潤之(文学部准教授)

■プレコース事前説明会 概要

日 時：2007年6月6日(水) 14:30～16:10

場 所：関西大学千里山キャンパス 第1学舎1号館A101教室

吹田市山手町3-3-35 Tel:06-6368-1121(大代表)

(阪急「関大前」駅下車、徒歩約10分)

主 催：関西大学、財団法人社会開発研究センター、株式会社アンクラージュ

対 象：「クラブ・アンクラージュ」会員の方でプレコース受講を希望される方

内 容：

1. クラブ・アンクラージュについて

小中村政廣(株式会社アンクラージュ代表取締役社長)

2. カレッジリンク学習プログラムについて

芝井敬司(関西大学副学長・文学部教授)

村田裕之(社会開発研究センター理事長・東北大学特任教授・関西大学客員教授)

3. プレコース詳細・担当教授のご紹介

奥 純(関西大学文学部長)

4. プレコース受講に関する留意点

関西大学教務センター担当者

5. 「クラブ・アンクラージュ」入会手続きについて

クラブ・アンクラージュ事務局担当者

■プレコース 概要

〔2007年度春学期開講予定〕

テーマ	担当者	開講曜日・時間
芭蕉・蕪村そして子規	文学部教授 藤田真一	月曜 13:00～14:30
アジアの言葉を学ぶ ～中国語入門～ － 中国のひと、暮らし、文化 －	文学部准教授 奥村佳代子 ほか	火曜 10:40～12:10
フランス映画史への誘い	文学部准教授 堀 潤之	水曜 10:40～12:10
コーランを読む	文学部教授 小田淑子	木曜 10:40～12:10
ヨーロッパの祭り	文学部教授 浜本隆志 ほか	金曜 10:40～12:10
ルネサンス期の絵画を読み解く	文学部教授 蜷川順子	金曜 14:40～16:10

〔2007年度秋学期開講予定〕

テーマ	担当者	開講曜日・時間
セルフ・エンパワリングについて	文学部教授 狭間香代子	月曜 13:00～14:30
みんなのにこにこ健康づくり －アンチエイジングスポーツと世代間コミュニケーション－	文学部教授 雑古哲夫 ほか	火曜 13:00～14:30
英米文学の愉しみ、英語学の面白さ	文学部教授 干井洋一 ほか	水曜 10:40～12:10
学校・青春・自分史	文学部教授 竹内 洋	木曜 10:40～12:10
ギリシャ・ローマ古典の世界	文学部准教授 中澤 務	木曜 13:00～14:30
ドイツ文学の神髄に触れる － 中世から現代まで －	文学部教授 佐藤裕子 ほか	金曜 14:40～16:10

2007年度春学期開講予定プレコース 講義概要

芭蕉・蕪村そして子規	文学部教授 藤田真一
俳諧（俳句）の歴史を代表する3名の俳人について、さまざまな角度から見ていきます。たとえばこんな具合です。 1 芭蕉：「絵を描く芭蕉」「句を揮毫する芭蕉」「句集をつくる芭蕉」「風狂に生きる芭蕉」 2 蕪村：「俳画を描く蕪村」「紀行文を書かない蕪村」「門人を慈しむ蕪村」「句を案じる蕪村」 3 子規：「友情厚き子規」「病床から革命を起こした子規」	
〔テキスト〕なし	

アジアの言葉を学ぶ ～中国語入門～ — 中国のひと、暮らし、文化 —	文学部准教授 奥村佳代子 ほか
この授業の目標は、現代中国語（中国語では「普通話」と呼んでいます）の基礎を身につけることです。ことばの基本は「音」です。中国語の発音は難しいという声をたまに耳にしますが、実は日本語にとっても良く似た発音も多いのです。まずは真似しやすい発音から練習を始め、同時に会話に役立つ表現を学びます。また、授業を利用して、中国文化講座を開催する予定です。ことばの扉の奥に広がる豊かな中国文化を味わってほしいと思います。	
〔テキスト〕内田慶市・奥村佳代子・塩山正純・張軼欧 『中国語への道—近きより遠きへ—』（金星堂）	

フランス映画史への誘い	文学部准教授 堀 潤之
全10回の講義で、フランス映画史の大まかな流れをたどります。毎回、具体的な作品（の一部）を視聴し、ディスカッションを重視します。	
第1回 フランス映画の大まかな流れ	
第2回 リュミエール兄弟とジョルジュ・メリエス	
第3回 ルイス・ブニエールと『アンダルシアの犬』	
第4回 ルネ・クレール『眠るパリ』とエッフェル塔	
第5回 詩的リアリズム：ジュリアン・デュヴィヴィエ『舞踏会の手帖』	
第6回 映画の演出1：ジャック・ベッケル『肉体の冠』	
第7回 映画の演出2：マックス・オフルス『快楽』	
第8回 ジャン＝リュック・ゴダールとヌーヴェル・ヴァーグ	
第9回 アニエス・ヴァルダの軌跡	
第10回 フランソワ・オゾンと90年代の映画	
〔テキスト〕なし	

コーランを読む	文学部教授 小田淑子
イスラームの聖典『コーラン』（井筒俊彦訳、岩波文庫全3巻）を読みながら、イスラームという宗教の特質を学びます。 最初に、預言者ムハンマドと神アッラーの関係、預言者の活動とコーランの編纂について説明し、その後は、以下の4つの主要テーマにそって、関連する箇所を読みます。コーランの人間描写の面白さを味わいながら、イスラームという宗教の特徴を学びます。 1) コーランの成立事情。預言者ムハンマドの生涯と活動 2) 世界創造と人間の創造 3) 終末の情景と最後の審判 4) 来世（天国と地獄）の描写 5) イスラーム教徒の儀礼規範や社会規範	
〔テキスト〕 井筒俊彦訳『コーラン 全3冊』（岩波文庫）	

ヨーロッパの祭り	文学部教授 浜本隆志 ほか
主としてフランス、イタリア、ドイツの祭りを考察します。最初に総論としてヨーロッパのギリシャ、ローマ時代、ケルト、ゲルマン時代における異教の祭りを紹介し、これらがキリスト教化した後、どのように変遷したのかをたどります。具体的には聖ニコラウス祭、クリスマス、カーニバル、復活祭、聖ヨハネ祭などを扱いますが、ヴァルブルギスの夜祭り、タラスク祭、パリ祭などのローカルな祭りも視野に入れる予定です。	
〔テキスト〕 なし	

ルネサンス期の絵画を読み解く	文学部教授 蛭川順子
さまざまな展覧会や美術全集、TV番組などを通して馴染み深いものとなった西洋絵画のイメージは、私たちの豊かな文化的営みに欠くことのできないものとなっています。ここでは身近になったイメージの中から、ルネサンス期のものを毎回1枚ずつ取り上げ、まさにその1枚が生まれるにいたった事情、そこに働いた意図、作品の意味を読み解いていきます。適宜ビデオやスライドを用い、また、いくつかの材料を比較検討して受講者が独自の解釈を試みるプログラムも準備します。今回取り上げる予定の作品は以下の10点。マザッチオ《貢の銭》、フラ・アンジェリコ《受胎告知》、ボッティチェッリ《プリマヴェーラ》、レオナルド・ダ・ヴィンチ《最後の晩餐》、ミケランジェロ《聖家族》、ラファエロ《アテネの学堂》、ヤン・ファン・エイク《アルノルフィーニ夫妻像》、ロヒール・ファン・デル・ウェイデン《十字架降下》、デューラー《1500年の自画像》、グリュネヴァルト《イーゼンハイム祭壇画》	
〔テキスト〕 なし	

2007年度秋学期開講予定プレコース 講義概要

セルフ・エンパワリングについて	文学部教授 狭間香代子
自立した人生を生き生きと過ごすためには、いつまでもチャレンジ精神を持ち続けることが大切です。そのためには、自らの潜在的な力や強さを再発見するエンパワリングが役立ちます。本講座では、エンパワリングのための方法としてソーシャルワーク領域で提唱されている技法を紹介します。 1. エンパワメントとチャレンジ 2. 強さの視点 3. 意味の転換	
〔テキスト〕なし	

みんなのこにこ健康づくり ―アンチエイジングスポーツと世代間コミュニケーション―	文学部教授 雑古哲夫 ほか
最近、さまざまな分野で注目されている身体と健康に関するテーマにアンチエイジング（老化防止）がありますが、アンチエイジングを実践するにはある程度の自助努力が必要です。また、個々の人と人を繋ぐコミュニケーション（人間関係）は、言語や文字によってのみ生み出されるものではありません。例えば、身体運動を実践することを通して、新しく人と出会い、多くの人と喜びや感動を共有することが可能です。本テーマでは、身体運動文化専修が長年取り組んでいる公開授業などの実践を基盤として、高齢者に受け入れられやすい身体技法を用いた健康づくり、楽しさ、喜びを分かち合うボディワークなどを主体とした実践と理論が一体となったコースを展開します。	
〔テキスト〕なし	

英米文学の愉しみ、英語学の面白さ	文学部教授 干井洋一 ほか
本コースは数名の教員によるリレー授業で、イギリス文学、アメリカ文学、英語学の3領域についてそれぞれ数回ずつ実施し、それぞれ独自の視点から各専門領域への入門授業を行う予定です。以下、各領域の授業概要（予定）を簡単に記します。 イギリス文学のパートにおいては、作品分析を通して英文学の面白さをともに味わいたいと思います。アメリカ文学のパートにおいては、文学作品に加えアメリカ映画も取り上げる予定です。英語学のパートにおいては、日常意識することなく使っている「ことば」そのものに焦点を当て分析を行います。	
〔テキスト〕なし	

学校・青春・自分史	文学部教授 竹内 洋
歌謡曲「高校三年生」が象徴するように、戦後、青春は大衆化した。多くの人々が中等教育や高等教育に進学するようになったからである。学校こそ青春の装置である。この授業では、「青い山脈」や「チップス先生、さようなら」などのビデオなども鑑賞しながら、学校と青春を考えてみたい。受講生のみなさんの学校や青春体験も発表してもらおう。	
〔テキスト〕 竹内洋『日本の近代12 学歴貴族の栄光と挫折』（中央公論新社） 竹内洋『学校システム論 改訂版』（放送大学教育振興会）	

ギリシャ・ローマ古典の世界	文学部准教授 中澤 務
文学・哲学・芸術・歴史など人文学各分野に深く関わるギリシャ・ローマ古典作品を紹介し、その魅力を探ります。授業においては、図像や映像（映画や演劇）鑑賞なども交えながら、具体的なイメージを持てるよう工夫します。 また、古典作品の概略を紹介するだけでなく、実際のテキスト（邦訳）を講読する機会も設けます。 テーマとして考えているのは、（1）ギリシャ・ローマ神話、（2）英雄叙事詩の世界、（3）ギリシャ・ローマ演劇、（4）ローマの哲人たちの生き方、など。	
〔テキスト〕 なし	

ドイツ文学の神髄に触れる — 中世から現代まで —	文学部教授 佐藤裕子 ほか
ゲーテ、シラー、ハイネなど、世界文学として私たちが慣れ親しんだ中世から現代に至るドイツ文学の代表的な作品の数々を紹介し、時代的・文化的背景などを考察しながら、作品を解釈し、その魅力に触れます。ドイツ文学といういわゆる「硬い」というイメージがありますが、実際は驚くほど多様で感情豊かな文学作品の宝庫で、人間の本質を探究するテーマは時代や文化の壁を越えて私たちに語りかけてきます。授業では、文学に限らず、ドイツ音楽や映画なども鑑賞し、また、フィールドワークとして、大阪とその近辺のドイツ文化に触れる機会を持つ予定です。取り扱う作家やテーマは以下のとおりです。 ・ドイツ文化の発祥から中世ドイツ文学を紹介 英雄叙事詩『ニーベルンゲンの歌』、宮廷叙事詩—ハルトマン・フォン・アウエ ・疾風怒濤時代の文学 ゲーテとシラー ・シャミッソーからゴットヘルフヘ ・ヘルダーリン、ノヴァーリス、E. T. A ホフマン、ハイネ ・ケストナーの世界 他	
〔テキスト〕 なし	

